

# ～特に明け方や夕方注意～ ツキノワグマの出没増加期間

ツキノワグマは、明け方や夕方に活動が活発になり、例年、町内では、6月から10月に人との遭遇が増加します。普段から事故を防ぐために地域で取り組みましょう。



## 寄せ付けない・居着かせない

クマを始め野生鳥獣は、「安全」で「食べ物」がある場所に出没します。「危険」で「食べることができない」場所であると学習させましょう。

- ・生ごみ、米ぬか、廃棄作物などを屋外に放置しない
- ・柿、桑の実、野苺など収穫しない果実は、伐採又は刈払いする
- ・果樹やトウモロコシなどの農作物は、電気柵で囲う
- ・家畜の工舎は、壁か柵で四方を囲う



## バッタリ遭遇を避ける

クマは、人を怖がっている間は、人目につかないよう、藪などに隠れて行動します。居ては困る場所は、刈払いを行い、クマの居場所を無くしましょう。

見通しが良ければ、クマが近くに来てても「バッタリ遭遇」しづらくなります。

- ・家の周りや通学路など、藪になる前に刈り払う
- ・クマ鈴、ラジオ、花火など音を出し、人が居ることを知らせる

## 町の取り組み



捕獲用の罠。見かけても近寄らないでください。

クマを始め野生鳥獣は、法律で原則、捕獲等が禁止されています。ツキノワグマを捕獲する際は、岩手県の許可を得て町鳥獣被害対策実施隊員が行います。

岩手県では、山林は、ツキノワグマが生息する場所として位置づけており、有害捕獲は許可されません。

田畑は、電気柵などで被害対策を行ってもなお被害がある場合に許可される場合があります。

住宅付近など人が往来する場所にクマが出没した場合は、警察又は役場まで通報し、住民で情報を共有しましょう。